

日本学術振興会  
先端科学 (FoS) シンポジウム  
平成22年度開催分 参加者候補推薦要項

平成22年1月  
独立行政法人日本学術振興会

1. 趣 旨

独立行政法人日本学術振興会 (Japan Society for the Promotion of Science: JSPS) は、新進気鋭の若手研究者 (45 歳以下) による分野横断的な議論を通じて、新しい学問領域の開拓に貢献するとともに、広い学問的視野を持つ次世代のリーダーを育成することを目的として、先端科学 (Frontiers of Science: FoS) シンポジウム事業を実施しています。

2. 実施形態

平成22年度は、三カ国の対応機関との共催により、以下の3つのシンポジウムを実施します。

- ・ 日米先端科学 (JAFoS) シンポジウム :  
米国科学アカデミー (National Academy of Sciences: NAS) との共催
- ・ 日独先端科学 (JGFoS) シンポジウム :  
フンボルト財団 (Alexander von Humboldt Foundation: AvH) との共催
- ・ 日仏先端科学 (JFFoS) シンポジウム :  
フランス外務省 (Ministère des Affaires Etrangères et Européennes: MAEE)、フランス高等教育・研究省 (Ministère de l'Enseignement Supérieur et de la Recherche: MESR) 及び国立科学研究センター (Centre National de la Recherche Scientifique: CNRS) との共催

1) 全員参加型シンポジウム

各シンポジウムは、60～80名 (各国30～40名) の若手研究者が参加し、3日間の合宿形式で行われます。参加研究者は自分自身の専門分野にかかわらず、全てのセッションに参加して、共催機関である米国科学アカデミー等が選考した相手国側参加研究者と、英語による活発な議論を行うことが求められます。

2) トピック

本シンポジウムでは、生物、化学、医学、物理、数学、社会科学等のセッションごとに、その該当する研究領域において最先端であり、高い関心を集めている「トピック」\*が選出され、参加研究者全員は、これらのトピックについて各々の専門分野にとらわれず積極的に自由に議論します。

チェア及びスピーカーは、こうした議論の水先案内人として、当該分野の専門家ではない聴衆を常に意識しながら、専門分野における主要な研究上の問題や制約なども含め、トピックの先端科学としての魅力や可能性についてプレゼンテーションを行います。

\* 平成22年度シンポジウムのトピックは、後日決定されます。過去のトピックについては、本会ホームページ (<http://www.jps.go.jp/j-bilat/fos/index.html>) を参照ください。

### 3) シンポジウムの特徴

本シンポジウムは一般的なシンポジウムとは異なり、議論の集約や結論、特定の方向付けを指向するものではありません。専門分野の異なる研究者間の議論を通じて、一流の若手研究者の自由な発想と独創性をさらに発展させ、先端科学への挑戦と科学の進歩を促すことを目指しています。

### 3. 対象分野

人文・社会科学、自然科学にわたる全分野を対象とします。

### 4. 使用言語

英語

### 5. 募集人数

各シンポジウムの日本側参加研究者 (Discussant) として、以下の人数を公募します。(日本側参加研究者は、本要領に基づき推薦のあった者に加え、本会及び本事業企画委員が推薦した者から決定します。)

日米先端科学シンポジウム	日独先端科学シンポジウム	日仏先端科学シンポジウム
若干名(10名以内)	若干名(8名以内)	若干名(10名以内)

(注) 参加研究者の役割

- ・ 討論への参加
- ・ ポスター発表 等

### 6. 推薦の条件

原則として、以下の項目をすべて満たす我が国の学術研究機関\*に所属する常勤の研究者であることが推薦条件となります(本シンポジウム参加経験のある者は推薦の対象となりませんのでご注意ください)。

- 1) 45歳以下であること(平成22年4月1日現在)。
- 2) 優れた学術業績があること(受賞歴等があれば記載すること)。
- 3) 英語での議論に優れること。
- 4) リーダーシップを発揮できること。
- 5) 自分の専門分野に限らず、幅広い分野に対して興味関心を持っていること。
- 6) 対象となる各シンポジウムの全日程に参加できること。

\* 我が国の大学等学術研究機関等：

- ① 大学、短期大学、大学共同利用機関、高等専門学校
- ② 国公立試験研究機関等
- ③ 学術研究・研究開発活動を行う独立行政法人、特殊法人、政府出資法人、一般財団法人、一般社団法人
- ④ 民間研究機関

※ ②～④については「機関コード一覧」(<https://www.kokusai.jsps.go.jp/jsps1/kikanList.do>)に掲載されている機関に限る。

## 7. 推薦権者

我が国の大学の学長をはじめとする学術研究機関の長、又は優れた研究実績を有する我が国の学術研究者です（いずれの場合も、推薦は機関を通じて行って下さい）。

## 8. 経費等

本会及び共催機関が、所属機関から会場への往復交通費（外国旅費・内国旅費）及び各シンポジウム期間中の宿泊及び食事を負担します。

## 9. 開催地及び開催期間

各シンポジウムは日本と相手国とで相互に開催します。平成22年度の開催国と開催日程は表の通りです。

	第12回日米先端科学シンポジウム	第7回日独先端科学シンポジウム	第5回日仏先端科学シンポジウム
開催国	日本	ドイツ	日本
開催日程	平成22年12月3日 ～12月5日(3日間)	平成22年11月12日 ～11月14日(3日間)	平成23年1月21日 ～1月23日(3日間)
出張期間	平成22年12月2日 ～12月6日(5日間)	平成22年11月11日 ～11月16日(6日間)	平成23年1月20日 ～1月24日(5日間)
セッション構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物学、生命科学</li> <li>・化学、生化学</li> <li>・地球科学、環境学</li> <li>・材料、生命材料科学</li> <li>・数学、応用数学、情報科学</li> <li>・医学、神経科学</li> <li>・物理学、天体物理学</li> <li>・社会科学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物学、生命科学</li> <li>・化学、材料科学</li> <li>・地球科学、地学、環境学</li> <li>・数学、情報科学、工学</li> <li>・物理学、宇宙物理学</li> <li>・社会科学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物学、生命科学</li> <li>・化学、生化学</li> <li>・地球科学、環境学</li> <li>・材料、生命材料科学</li> <li>・医学、神経科学</li> <li>・物理学、天体物理学</li> <li>・人文学、社会科学</li> <li>・理論及び応用数学、情報科学</li> </ul>
参加者	80名(日米各40名)	60名(日独各30名)	80名(日仏各40名)
各国参加者内訳*	参加研究者 20名 企画委員 8名 チェア } スピーカー } 12名	参加研究者 15名 企画委員 6名 チェア } スピーカー } 9名	参加研究者 20名 企画委員 8名 チェア } スピーカー } 12名

\* 企画委員は本会先端科学シンポジウム事業委員会が選考し、チェア及びスピーカーは日本と相手国の企画委員が共同選考するため、公募の対象とはなりません。

## 10. 推薦手続

### 1) 提出書類

- ① 先端科学 (FoS) シンポジウム参加者候補推薦名簿 ---- 原本1部(様式1)
- ② 先端科学 (FoS) シンポジウム参加者候補推薦書 ----- 原本1部、写し1部(様式2)

## 2) 応募方法

提出書類①を表紙とし、そのリスト順に提出書類②をセットして、下記受付期間内に提出してください。

推薦者と被推薦者の所属する機関が異なる場合は、推薦者の所属機関から提出ください。

### 1 1. 受付期間

平成22年3月15日(月)～3月19日(金) 17:00(本会必着)

### 1 2. 選考

本会に設置する先端科学 (FoS) シンポジウム事業委員会において選考します。

### 1 3. 選考結果の通知

平成22年7月頃、推薦機関に通知します。

### 1 4. その他

- 1) 推薦書等は所定の様式を使用してください。なお、推薦書等は本会のホームページからダウンロードすることができます。
- 2) 推薦書等の提出後、その記載事項を変更または補充することはできません。
- 3) 提出された推薦書等は返却しません。
- 4) 選考結果に対する問い合わせには応じかねます。

### 1 5. 推薦書類の提出先及び問合せ先

応募書類は、下記へ郵送又は持参にて受け付けます。

〒102-8471 東京都千代田区一番町6番地(住友一番町ビル 2F)

独立行政法人日本学術振興会 国際事業部 研究協力第二課

「先端科学 (FoS) シンポジウム」事業担当

TEL : 03-3263-1944, 1801

E-mail : fos@jsps.go.jp

ホームページアドレス

<http://www.jsps.go.jp/j-bilat/fos/index.html>

## 提出書類（様式1～2）の記入要領

- ・ 日本語で記入してください。但し、様式2「⑩推薦理由」及び「⑰主な論文または著書等」については英語も可とします。
- ・ ワードプロ等により記入してください。
- ・ 様式は加工しないでください。
- ・ 原本および写し共、A4判で両面印刷としてください。
- ・ 該当ページ以外に新たに用紙を加えることはできません。また、本会が指定した書類以外のものを添付することもできません。
- ・ 様式1の記入に当たっては様式内の記載事項を参照してください。
- ・ 様式2の各欄の記入に当たっては下記を参照してください。

### 1. 「①種別」

- ・ 我が国の大学の学長をはじめとする学術研究機関の長・・・「1. 機関長推薦」
- ・ 優れた研究実績を有する我が国の学術研究者等（学術研究機関の部局長を含む）  
・・・「2. 個人推薦」

### 2. 「②区分」

参加可能なシンポジウムを選択し、該当する数字を○で囲んでください。（複数回答可）

### 3. 「③領域」

候補者の研究領域に最も合致すると思われる領域を選択し、該当する数字を○で囲んでください。

### 4. 「④分科」、「⑤細目」、「分科細目コード」

候補者の研究テーマに該当するものを記入してください。（本会ホームページ上「分科・細目・キーワード一覧」<http://www-shinsei.jsps.go.jp/code/keyword.html>を参照してください。）

### 5. 「⑥専門分野」

候補者が、現在専門としている分野を簡潔に記入してください。

### 6. 「推薦機関又は推薦者」

すべて記入してください。個人推薦による場合は、推薦機関名に推薦者の所属機関を記入してください。

### 7. 「⑦氏名」

氏名は漢字等により記入してください。（姓と名の間を1文字分あけてください。）

記入例： ガクシン タロウ

学振 太郎

外国人の場合も姓・名の順で記入し、漢字で記入できない場合は、姓名はアルファベットで、ミドルネームはイニシャル(アルファベット)のみを記入してください。

記入例：ニュートン S. アイザック

Newton S. Isaac

8. 「⑧ 性別」

該当する数字を○で囲んでください。

9. 「⑨ 生年月日」

西暦で記入してください。

10. 「⑩ 現職」

推薦書作成時点の現職を記入してください。

11. 「⑪ 所属機関住所等連絡先」

推薦書作成時点の所属機関住所、電話、FAX、E-mailを記入してください。

12. 「⑫ 略歴」

必要事項を記入し、不要文字は(2重線)で消してください。「3. 博士」の( )内には、取得した博士の学位に付記された専攻分野名を記入し、末尾に大学名を記入してください。

(「⑫ 略歴 3.」の記入例)

「3. 1991年3月医学博士の学位取得(〇〇大学)」<sup>注1</sup>

「3. 2003年3月博士(医学)の学位取得(〇〇大学)」<sup>注2</sup>

〔 注1) 1991年7月より前に学位を取得した場合の表記  
注2) 1991年7月以降、学位を取得した場合の表記 〕

大学、研究機関等に採用歴のある者は、採用開始年月と身分を記入してください。現在の職には末尾に「(現在)」と記入してください。なお、兼務、兼職は記入する必要はありません。

(「⑫ 略歴 4.」の記入例)

「4. 1999年4月 〇〇大学 〇〇研究科 助手

2007年4月 〇〇大学 〇〇研究科 准教授(現在)」

日本学術振興会特別研究員、日本学術振興会海外特別研究員の採用歴がある者は、その旨も記入してください。

13. 「⑬ 過去の在外研究歴」

海外の研究機関等における研究または留学の経験を記入してください。

14. 「⑭ 過去に受けた主な賞等」

日本学術振興会賞、学会賞等の優れた賞の受賞歴のほか、学術調査官の経験、特権的

なフェローシップの授与歴等を記入してください。

15. 「⑮ 研究テーマ」

40字以内(記号、数字等もすべて1字として数えます。)で簡潔に記入してください。  
化学記号、略号はなるべく避けてください。

16. 「⑯ 推薦理由」

推薦要項「6. 推薦の条件」欄を参照し、本シンポジウムの参加者としての適格性を踏まえて記入してください。特に、「3) 英語での議論に優れること。4) リーダーシップを発揮できること。5) 自分の専門分野に限らず、幅広い分野に対して興味関心を持っていること。」について、わかりやすく記入してください。

また、主要な国際会議等への参加実績(国際会議名、主催団体名、開催国名、開催年、役割(チェア、スピーカー、一般参加者の別))についても記入してください。

字数の制限はありませんが、様式に収まるよう記入してください。

17. 「⑰ 主な論文または著書等」

候補者が中心的な役割を果たした主な論文または著書等を、以下の要領に従って記入(3件以内)し、また、その要約を200字～300字程度で記入してください。

- ・ 査読の有無を区分して記入すること。査読がある場合、印刷済及び採録決定済のものに限り、査読中・投稿中のものは除く。
- ・ 著者(候補者を含む全員の氏名を、論文と同一の順番とする)、題名、掲載誌名、発行所、巻号、pp 開始頁ー最終頁、発行年をこの順で記入すること。

18. 「推薦者署名」

推薦書の原本に推薦者自ら署名してください。ただし、推薦者が学術研究機関の長または部局長である場合は、職印で可とします。